

一般演題 6 O6-06

奥入瀬溪流を感じる高気圧酸素室

○小泉朱世¹⁾ 松本 真¹⁾ 後藤滉弥¹⁾ 菊地将司¹⁾檜館芽依¹⁾ 畑林絵梨香¹⁾ 佐々木雄作²⁾ 吉村有矢²⁾

〔1) 八戸市立市民病院 医療技術局 臨床工学科〕

〔2) 八戸市立市民病院 救命救急センター〕

【背景】

当院は臨床工学技士 24 名が在籍し、うち 5 人が他業務と兼任で HBO 業務に携わっている。当院は 1 日 4 枠の治療枠を設けており、急性期疾患を中心に年間約 350 件の治療を行っている。しかし、他業務が忙しい場合には 1 人で 4 枠すべてを行うことも多く、始業時から終業時までを治療室内の無機質な密室空間で過ごすことも少なくない。そのため、操作者だけでなく患者も長い治療を受けるうえでリラックスできる空間ではなかった。

【目的】

装置更新に伴って壁紙や床材などもすべて変更を行ったため、これらの変更が操作者へどのような変化を与えたかアンケート結果をもとに報告する。

【方法】

我々は操作者・患者双方の精神的な安寧を目指して、チャンバーから一番よく見える壁一面を青森県の名所でもある奥入瀬溪流の壁紙にすることにした（図 1）。

これに合わせて天井は木目調にするなど、景観を損なわない色合いとし、壁紙も不燃性のものを選択した。アンケートは全 4 問＋記述で 5 段階評価の 20 点満点とし、HBO 業務に従事する臨床工学技士や、治療室に訪れたことがある医師・臨床工学技士を対象に実施した。



図 1：当院の高気圧酸素室の全景

【結果】

壁紙の変更前後で、疲労具合の軽減 2.0 点から 4.0 点、閉鎖感の軽減は 2.0 点から 4.5 点、業務意欲は 3.0 点から 3.5 点、癒されるかは 1.0 点から 4.0 点といずれも変更後に肯定的な意見が多く得られた（表 1）。

表 1. アンケート結果

	変更前	変更後
HBOで精神的疲労はあるか	2.0 (1.0-2.75)	4.0 (3.0-4.75)
HBO治療室内で圧迫感はあるか	2.0 (2.0-2.0)	4.5 (4.0-5.0)
HBO業務をやりたいと思うか	3.0 (2.0-3.0)	3.5 (2.25-4.0)
癒されるか	1.0 (1.0-2.0)	4.0 (3.25-5.0)

中央値（四分位範囲）

【考察】

壁紙を奥入瀬溪流にしたことで、緑色という色彩や森林映像によってリラックス効果や否定的な感情を低下¹⁻³⁾させ、精神的な疲労の軽減や従事意欲の向上に繋がったと考える。また、壁の奥に空間があるような錯覚が起き、実際よりも部屋が広く感じたり、解放感が得られた。透明のアクリルチャンバーと併せて閉鎖感の軽減につながり、閉所恐怖症の患者にも HBO 治療を行うことができた。

【結語】

無機質な壁紙から自然が描かれた奥行のある壁紙（奥入瀬溪流）にすることは、長時間の業務時であっても、操作者・患者双方の精神的な安寧と負担軽減へと繋がる可能性が示唆された。

参考文献

- 1) 木戸真美：色彩の生体心理効果. Journal of International Society of Life Information Science 2020；18：263-268.
- 2) 武田敦史 他：森林浴の癒しと健康増進効果について. — Heart's Original 2009；41(4)：405-412.
- 3) 立川啓太 他：森林音聴取と森林映像視聴が前頭前野および自律神経活動に与える影響. 日本補完代替医療学会誌 2024；21(1)：7-14.